

事業者温室効果ガス削減計画書概要(第二計画期間)

1 事業所の概要

事業者の名称	ENEOS株式会社		
事業所の名称	ENEOS株式会社 仙台製油所		
事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区港5-1-1		
主たる事業	石油製品・石炭製品製造業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>グループ環境方針の一つとして「脱炭素社会形成への貢献」を掲げ、「カーボンニュートラル基本計画」を策定し、「製造・事業の効率化(省エネ・燃料切替・再エネ活用など)」を具体策として諸施策を推進している。</p> <p>仙台製油所では「環境負荷の低減」を事業計画として策定し、①廃棄物の分別回収の徹底および再資源化の更なる推進、②装置非常定時の排出ガス管理強化などを推進している。</p> <p>また国際競争力強化の一環として、設備投資を含む省エネ推進を事業計画に定めている。</p>		

2 温室効果ガスの削減目標等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標 ・ 非化石エネルギーの使用割合目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	917,901 t-CO ₂	基準原単位	17.73
	目標年度	2025 年度	目標排出量	905,928 t-CO ₂	目標原単位	14.1
			削減率	1.30 %	削減率	20.47 %
			非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	目標設定の考え方	<p>コロナおよび地震による生産数量低下がなかった2019年度対比6%減(年平均1%減)を目標とした。</p> <p>(目標排出量は、生産数量に連動して増減するため参考扱いとする)</p> <p>非化石エネルギーについては、石油精製業という業種の特性上、石油精製時の副生ガスを主燃料としており、また複数年を要する大規模投資なしでの非化石転換は困難なため、2025年度の目標は設定しない。</p> <p>(参考: 所内自家発電量に占める非化石発電(太陽光)比率は0.01%未満)</p>				

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施計画	基準年度実施率	96 %	目標年度実施率	96 %
選択対策の実施計画	項目			実施年度
	外部機関による省エネ診断			実施済
	生産性管理			実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)			実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)			実施済
	ボイラーの運転効率管理			実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理			実施済
	蒸気トラップの管理			実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理			実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理			実施済
	圧縮空気系統の保全管理			実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理			実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理			実施済
	変圧器の負荷率管理			実施済
	デマンド管理			実施済
負荷平準化			実施済	
再生可能エネルギーの導入			実施済	

	項目	具体的な取組内容	実施年度
その他の対策の実施計画	環境マネジメントシステムの導入	当製油所は、意図した成果を達成するために、当製油所の状況(外部・内部の課題、利害関係者のニーズや期待等)を考慮し、環境マネジメントシステムのPDCAサイクルを確立することにより、継続的な改善を目指す。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	廃アルカリ処理およびメイクアップ量削減による廃棄物払い出し量の削減 凝集剤変更に伴う排水汚泥の発生量削減	第3年度
	森林の保全・緑化の推進	年に3回、植栽や伐採など森林保全活動を実施	実施済
	グリーン調達の実施	「グリーン調達推進要領」に基づき、グリーン購入推進に資することを目的として、「グリーン購入に関する購買指針」を定めている。 また、毎年グリーン購入の周知教育を行っている。	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	2015～2019年度にかけて省エネを目的とした改善投資により、38,000 t-CO ₂ /年の温室効果ガスを削減した。 第一計画期間にあたる2020～2022年度にかけては同様の改善投資により6,520 t-CO ₂ /年の温室効果ガスを削減した。	実施済